

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「ゆっくり、いっしょに、たのしく」を基本に、その人らしさを尊重した事業所独自の理念の達成	職員と利用者が一緒になって「ゆっくり、いっしょに、たのしく」を作り上げていきたい	ミーティング時、職員が理念を復唱し意識付けを図っている	
1	3	地域貢献～地域からの相談実績がない	地域の頼れる事業所	気軽に立ち寄れるオープンな雰囲気づくり。事業所の存在を改めて周知する	
1		業務に終われ、利用者さんとゆっくり関わりを持っていないことがある	1日に一度は利用者さんとゆっくり話をする機会を持つ	3時のおやつ時間に、一緒にお茶を飲んだり、会話をするなど、積極的に関わる時間を持つ	
2	2	近隣住民とのかかわり	近隣住民と気軽に声を掛け合ったりすることで、孤立することなく地域活動に参加する	散歩時に、近隣住民と挨拶したり、気軽に話せる関係性を構築する	
2	57	利用者と一緒に、ゆっくり過ごす時間があまりない(入浴介助で利用者が湯船につかっているときぐらい)	利用者と過ごす時間の工夫をする(散歩、ドライブ、レクリエーションなど)	近所を散歩したり、休浴日にドライブ。悪天候時には屋内で合唱なども行っている	
3	6	鍵を掛けないケアの実践	日中、居室や玄関に鍵を掛けないケアに取り組んでいる	日中、玄関は施錠していない。居室のドアも開放している。多くの利用者が自由に活動している	
3	58	利用者一人ひとりのペースに合わせて生活しているが、足腰の筋力保持が心配	できるだけ自立歩行を目標に、今以上に車イス介助者を増やさないように取り組みたい	居間の長椅子に座っていることが多い利用者には、廊下の手すりを用いた「つかまり立ち」数回や廊下歩行を実践したい	
4	12	向上心を持って働けるような職場環境とその整備	職員各自が向上心を持って、やりがいのある職場環境、条件の整備に努める	やりがいなど、各自が向上心を持って働けるような職場の環境づくりに努めている	6カ月
4		業務に追われ、なかなかゆっくり利用者に関わりをもつことができない	少しずつでも関わられるように工夫する	食事に使用する手拭きたたみなど、一緒に関わる機会を多く持ち、コミュニケーションをとる	
5	17	初期対応の見極めと支援、対応	本人と家族が必要としている支援、対応	家族と本人が必要としている支援の実践、他のサービス利用を含めた対応に努めている	
5	53	居場所づくり～独りになれる場所を考える必要がある	職員の目が届きながらも独りになれる空間の工夫	パーテーション等の活用で試験的に実施してみる	

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。